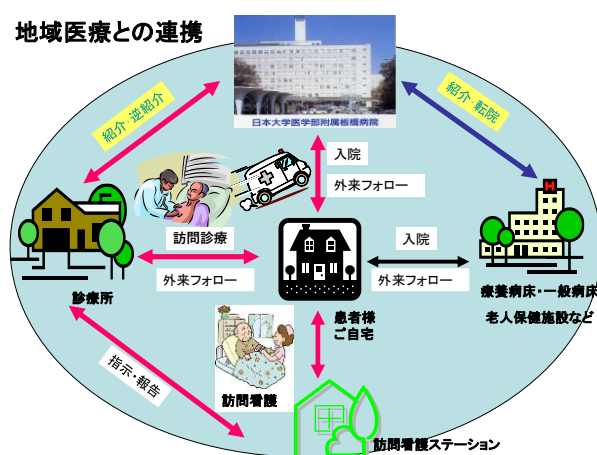


退院の不安

Q. 化学療法は限界と言われ、退院を勧められました。一人暮らしですし、痛みと吐き気とお腹の張りが続いていて、家で急に具合が悪くなったら、誰が助けてくれるのでしょうか？退院は不安です。

A. つらい病状が続く中、家でお一人で過ごすことは、確かに不安だと思います。入院はご不便なことがあっても、病院にはいつも誰かがいますから安心ですが、家にお一人で具合の悪いときは、誰かの助け、**医療面と生活介護面**、両方からの助けが必要です。今はこのようなご病状の、お一人暮らしの方でも、住み慣れた我が家で、不安なく医療を受け、つらい症状を緩和して、ご自分らしい生活を送ることができる、**在宅ケア**の制度がかなり整ってきました。

医療面では、**当院医師との連携**を取った上で、**診療所の医師と、訪問看護ステーション**の看護師が連携し、定期的にご自宅を訪問して、きめ細やかな診療と看護を提供する方法があります。緊急の時には、**24 時間連絡対応**ができ、外来受診や入院治療などの必要時は、速やかに対応できるように、退院前から密に連絡調整を行ないます。



生活介護面では、お食事の準備やお洗濯、掃除、安否確認などの日々の生活のお手伝いをしてもらえるホームヘルプや、自宅環境の整備など、患者様が受たいサービスを介護保険制度などからご利用できるように調整いたします。

当院ではこのようなご支援を、**患者支援センター**の看護師・保健師・医療ソーシャルワーカー（MSW）が行っていますのでこちらもどうぞご利用ください。

患者支援センター

場所：1 階 玄関脇

時間：月～金 8：30～16：30

土 曜 8：30～14：00

日祝日・休診日 休み

電話：0570-01-8111（ナビダイヤル）



日本大学医学部附属板橋病院 がん相談支援センター

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1

TEL: 03-3972-0011（相談直通）0570-01-8111（ナビダイヤル）